

ビデオアートの父

ナムジュン・パイク展

Nam June Paik

代表的ビデオ作品や、坂本龍一とのコラボレーション、
カリスマ・アーティスト ヨーゼフ・ボイスをモチーフにした作品により
ビデオアートの創始者ナムジュン・パイクの軌跡をたどる。



K-567 1993年



ナムジュン・パイク 草月ホール 1978年5月26日 撮影:安斎重男
All artworks by Nam June Paik © Nam June Paik Estate

2017.

10.6(金)~12.3(日)

鹿児島県霧島アートの森

月曜日休園(祝日の場合は、翌日休園)

- | 開園時間 | 9:00~17:00(入園は16:30まで)
- | 会場 | 鹿児島県霧島アートの森 アートホール
- | 観覧料 | 一般:800(600)円/高大生600(400)円/小中生400(300)円
()内は前売り又は20人以上の団体料金

主催:鹿児島県文化振興財団/南日本新聞社/KTS鹿児島テレビ
協力:DOMMUNE/湧水町/霧島山麓湧水町観光協会/
第一交通産業株式会社/en mo yukari
企画協力:ワトリウム美術館

前売り券販売所 | 南日本新聞社、KTS鹿児島テレビ、霧島山麓湧水町観光協会加盟店舗、霧島温泉市場、コープサービス、鹿児島大学生活協同組合、県職員生協、
宮崎県立美術館、都城市立美術館、宝山ホール(鹿児島県文化センター)、What、山形屋プレイガイド、大谷画材、集景堂、十字屋クロス、高木画荘、
国分進行堂、チケットぴあ(Pコード: 768-618)、ローソンチケット(Lコード: 82751)、e+イープラス

お問い合わせ 〒899-6201 鹿児島県始良郡湧水町木場6340番地220 TEL:0995-74-5945 FAX:0995-74-2545 www.open-air-museum.org

 霧島アートの森
KIRISHIMA OPEN-AIR MUSEUM



ケージの森/森の啓示 1993年
撮影：岡倉禎志

All artworks by Nam June Paik @ Nam June Paik Estate

ナムジュン・パイクは、世界で初めてテレビとビデオを用いた作品を発表し、ビデオアートの父として知られています。メディアやテクノロジーについての深い洞察から数々の作品を発表し、20世紀の美術史に名を残しました。本展は、ワタリウム美術館が所蔵するコレクションを軸に、当展示会場の特性を活かした没後初めての大きなナムジュン・パイク回顧展です。出品作品には、パイクによるブラウン管モニターを使った立体作品や、60年代の前衛芸術運動でオノ・ヨーコも加わった「フルクサス」の貴重な資料。そして、80年代から坂本龍一とのコラボレーションへ展開した映像も含まれます。その他、パイクとコラボレーション活動「ユーラシア」を行い、現代美術のカリスマとして活躍したドイツの芸術家ヨーゼフ・ボイスにまつわる作品群により、ビデオアートの創始者ナムジュン・パイクの軌跡をたどります。



アクセス ●車 /九州自動車道「栗野I.C.」より約20分、「鹿児島空港」より約40分
●電車 /JR「鹿児島中央駅」より日豊本線「隼人駅」のりかえ肥薩線「栗野駅」下車、町営ふるさとバスで約20分
●バス /「栗野駅」または「いきいきセンターの郷」より町営ふるさとバスで約20分～40分



ベーゼンドルファーのピアノを弾く
ヨーゼフ・ボイス - ナムジュン・パイクとヨーゼフ・ボイスによるパフォーマンス、草月ホール、1984年6月2日 撮影：安齋重男

ボイスを送る 1986年

ナムジュン・パイク(Nam June Paik) 1932～2006
韓国のソウルに生まれ、朝鮮戦争勃発後、戦禍を逃れて日本に移住。東京大学文学部で音楽を研究し、1956年に卒業。その後、現代音楽を学ぶために渡独し、カールハインツ・シュトックハウゼンやジョン・ケージといった、20世紀を代表する音楽家と出会い触発される。1961年には、ジョージ・マチューナスと出会い国際的な芸術運動「フルクサス」に参加。初個展で世界初のビデオアートを発表し、その後もメディアやテクノロジーに関する先鋭的な作品を発表し続けた。2006年アメリカにて没する。



ボイス 1988年

霧島アートの森
KIRISHIMA OPEN-AIR MUSEUM

〒899-6201
鹿児島県始良郡湧水町木場6340番地220
TEL:0995-74-5945 FAX:0995-74-2545
www.open-air-museum.org

提供(全点):ワタリウム美術館



「バイ・バイ・キッピング」の中継
坂本龍一とナムジュン・パイク
テレビ朝日 1986年10月5日



風呂敷天下
(ラップ・アラウンド・ザ・ワールド)
1988年



ベーゼンドルファーのピアノを弾く
ヨーゼフ・ボイス - ナムジュン・パイクとヨーゼフ・ボイスによるパフォーマンス、草月ホール、1984年6月2日 撮影：安齋重男

関連事業

※①から⑦までの各事業は、
本展観覧チケットが必要です。

①オープニングセレモニー

10月6日(金) 14:00～
ギャラリートーク 14:30～
和多利氏(ワタリウム美術館)

②記念コンサート

【バイクをめぐる作曲家たち】

木村紀子 / 濱田貴志デュオ・リサイタル
11月5日(日) 13:30開演 15:00終演
バイクにまつわるE.サティ、J.ケージ、
坂本龍一、武満徹などの名曲による演奏会。
監修:久保 禎(鹿児島国際大学教授)

③ダンスパフォーマンス

【瞬間に賭ける芸術】

11月3日(金・祝)
①13:00～ ②15:00～

コンタクト・インプロビゼーショングループ
C.I.co.(勝部ちこ・鹿島聖子)と
バイク作品とのコラボレーション

④DOMMUNE上映(約60分リピート)

【坂本龍一×和多利浩一×和多利恵津子】

ワタリウムPRESENTS 没後10年ナムジュン・パイク展
ライブストリーミングチャンネルDOMMUNE番組
(2017年1月3日配信)

⑤学芸員による作品解説

(各回14:00～40分程度)

①10/7(土) ②10/14(土) ③10/21(土)
④11/4(土) ⑤11/11(土) ⑥11/18(土)
⑦12/2(土)

⑥城南海イベント

【バイク作品と島唄】

奄美の歌姫 城南海さんが、
バイク作品
《ケージの森/森の啓示》
「ていんさぐぬ花」を鑑賞に
霧島アートの森に来園予定。



*詳細は決まり次第ホームページ等に掲載します。

⑦ガイドブック

ナムジュン・パイク展の見どころを解説した、
わかりやすいハンドブックを無料配布

⑧カタログ販売

ナムジュン・パイク
「2020年 笑っているのは誰?+?=??」など

